

事業所名

ぼらりすあんど

## 支援プログラム

作成日

2025年

2月

25日

法人（事業所）理念		<ul style="list-style-type: none"> <li>発達につまづきのある子ども及びその家族に対して、今を大切にしながらも将来を見据えるという視点から、社会生活への適応能力を向上するための支援に関する事業を行い、発達につまづきのある子ども及びその家族の安心した暮らしに寄与する。</li> <li>子どもが地域社会の中で安心して生活ができるために自立に向けた取り組みを行い、家族や関係機関と共に考え、育ち合う施設であることを目指す。</li> </ul>						
支援方針		<ol style="list-style-type: none"> <li>①子どもが自立できるため（あるいは近づけるため）の様々な支援を行う。</li> <li>②子どもが様々なことに対して、自ら考えて、判断し、責任を持った行動ができることを目指して支援する。</li> <li>③子ども、保護者、職員のそれぞれが共に育ち合いながら支援する。</li> <li>④自己理解を進める支援を行う。</li> <li>⑤自分に対するの自信を持てるように支援する。</li> </ol>						
営業時間		9時	30分	18時	0分	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>心と身体が健康で安全な生活を送ることができるように職員との関わりを通して実感出来るように支援する。</li> <li>生活リズムの形成や基本的な生活スキルの獲得などにつながるように支援する。</li> <li>子どもの生活が、生き生きと充実したものになるよう行動や感情のコントロールができるように支援する。</li> </ul>						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や運動・動作などを身につけることができるように取り組む。</li> <li>遊びや活動を通して様々な感覚（視覚・聴覚・触覚・嗅覚・固有覚・前庭覚等）に刺激を与え、感覚を養えるように取り組む。</li> <li>身体の使い方や力の強弱、距離感、バランス感覚など、様々な身体感覚の成長を支援する。</li> <li>手や指を使う日常的な動作に必要な微細運動スキルの獲得に取り組む。</li> </ul>						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりの認知特性を理解した上で、楽しい遊びや活動を通じて、その子どもに合った認知処理手段を身につけられるように支援する。</li> <li>集団生活の流れに沿った行動が出来るように支援する。</li> <li>空間、時間、数などの概念理解や子どもの思考パターンの幅を広げ、その場に適した行動を行えるように支援する。</li> </ul>						
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊びや様々な活動を通して、コミュニケーションを楽しめるように支援する。</li> <li>自分の思いが伝わることの喜びや楽しさの経験が積み重なるように支援する。</li> <li>発語が難しい子どもが自分の気持ちを表現する楽しさ・嬉しさを感じられるように支援する。</li> <li>言葉だけでなく、ジェスチャーや仕草、表情や態度、絵カードなど、子どもに合った方法を模索し支援する。</li> <li>正しい構音の習得ができるように支援する。</li> </ul>						
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>人と一緒に行う遊びや活動を通して、他者と関わる楽しさを経験できるように支援する。</li> <li>製作活動等を通じて”やり遂げた”という達成感を経験できるように支援する。</li> <li>興味が持てる遊びや信頼関係が深まった人を通して、ルールを理解し集団活動に参加できるように支援する。</li> <li>感覚的な遊びから、ふり、見立て、ごっこ遊びなどの象徴遊びへと発展させることで想像力を養い、ごっこ遊びなどの関わり遊びからルールや役割のある遊びへの発展を通じて社会性の発達を支援する。</li> <li>感情のコントロールや他者との適切な関わり方を学ぶためのソーシャルスキルトレーニングを必要に応じて実施する。</li> </ul>						
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>個々のご家庭の状況に対応できるように常に情報共有を行い、困りごとや悩み（子どもへの対応、きょうだい児に関する悩みごと、園への対応、将来についてなど）について一緒に考えていく。</li> </ul>			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>園や他事業所など関係機関との情報共有や連携を行う。</li> <li>就学・就園先への引継ぎ会等やカンファレンスに参加する。</li> <li>就学・就園に向けての準備に取り組み（保護者の思いや子どもの状況、就学・就園先の情報を踏まえて、子どもに合った環境を保護者と共に考えていく）、スムーズな移行を目指す。</li> </ul>	
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの通う園に対して、関係機関連携や保育所等訪問支援事業を通して、情報共有をや支援の連携を図る。</li> </ul>			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> <li>質の高い支援が行えるように研修・指導を行う。</li> <li>法定研修(①虐待防止（身体拘束）に関する研修②事故防止に関する研修③感染症に関する研修④防犯に関する研修⑤災害に関する研修)</li> <li>ケース検討会</li> <li>児発管等資格取得の支援</li> </ul>	
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> <li>避難訓練の実施</li> <li>公園へのお出かけ</li> </ul>						